

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）が発表されたら

8月8日、宮崎県で震度6弱の揺れを観測したマグニチュード7.1の地震をうけ、「南海トラフ地震の想定震源域で大規模地震が発生する可能性がふだんと比べて高まっている」として『南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）』が発表されました。

気象庁は、この情報が特定の期間中に必ず地震が発生することを伝えるものではないとしたうえで、巨大地震に備えて防災対策の推進地域に指定されている29の都府県の707市町村に対して、地震発生から1週間は地震への備えを改めて確認してほしいと呼びかけました。

南海トラフ地震臨時情報には（調査中）（巨大地震警戒）（巨大地震注意）（調査終了）の4つの段階があり、政府や自治体からその段階に応じた防災対応が呼びかけられます。

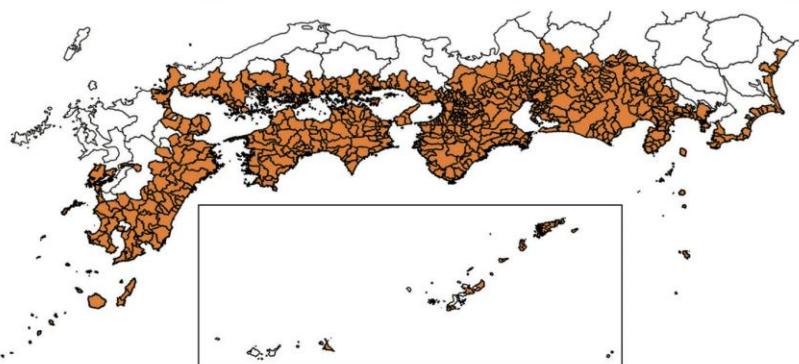
地震発生から 最短2時間後	南海トラフ地震臨時情報 （巨大地震警戒）	南海トラフ地震臨時情報 （巨大地震注意）	南海トラフ地震臨時情報 （調査終了）
(最短) 2時間程度	<ul style="list-style-type: none"> 日頃からの地震への備えの再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難するための準備 地震発生後の避難では間に合わない可能性のある住民は事前避難 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃からの地震への備えの再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難するための準備 <p>つねに家族の所在場所を把握</p> <p>非常用袋やヘルメットを玄関に</p> <p>寝る時は枕元にはきなれた靴を置いておく</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生も注意しながら通常の生活を行う。
1週間	<ul style="list-style-type: none"> 日頃からの地震への備えの再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難するための準備 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生も注意しながら通常の生活を行う。 	
2週間	<ul style="list-style-type: none"> 大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生も注意しながら通常の生活を行う。 		

■南海トラフ地震で 大きな被害が 見込まれる地域

〔南海トラフ地震
防災対策推進地域〕

指定基準の概要

- 震度6弱以上の地域
- 津波高3m以上で海岸堤防が低い地域
- 防災体制の確保、過去の被災履歴への配慮



また、専門家が行つたアンケートの結果では、本来求められた、家具固定の確認などの行動を取り開いたところがあつた一方、海水浴場を閉鎖したところもあるなど対応は分かれ、キャンセルが相次いだ宿泊施設もありました。

また、専門家が行つたアンケートの結果では、本来求められた、家具固定の確認などの行動を取り開いたところがあつた一方、海水浴場を閉鎖したところもあるなど対応は分かれ、キャンセルが相次いだ宿泊施設もありました。

国は、防災対策の推進地域に指定されている29の都府県の707市町村に一週間、地震への備えを改めて確認してほしいと呼びかけました。

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されました。

（2024年9月8日
NHK NEWS WEBより）



「すけわきた」とは宮城県登米市あたりの言葉で「ボランティアひ来たよ」という意味である

